

小児のお口が開けづらい原因は何？

お母様から「うちの子の口がしっかりと開けづらいんでおしゃべりが難しいんです」とのご相談があります。

それは **上唇小帯と舌小帯というヒダが原因です**



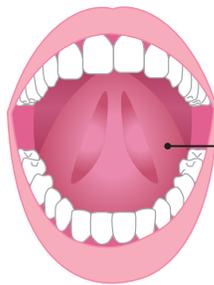
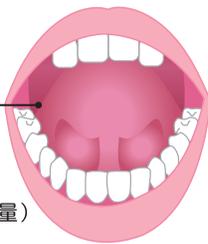
1 上唇小帯 (上唇の内側に存在しています)

出生時の上唇小帯は、切歯乳頭付近に付着していますが乳歯の萌出や歯槽骨（歯の周りの骨）の影響で年齢が上がるとこのヒダが歯に近接して繊維が歯の間に入り込み、永久歯が生えてくると歯が隣接しにくくなります。

2 舌小帯 (舌の内側に存在しています)

舌小帯（舌のヒダ）の影響で舌の前後運動が制限される事が起こり、喋りがうまく出来ず、さらに口も開けづらく、むせも起こしてしまうので食事が上手くできない場合もあります。

スポットに舌尖を付けた状態での最大開口量
(通常の最大開口量の 1/2 以下の開口量)



舌小帯切除後のスポットに舌尖を付けた状態での最大開口量
(通常の開口量の 1/2 以上の開口量)

歯科医院では

まず口腔機能療法（お口のトレーニング）をします。さらに上唇小帯、舌小帯の繊維が硬直しているので正常な口腔機能ができるようにオペを行います。今後の対応についてはご相談ください。

相談してね

